

ツーリズムメディアエート論

授業科目名	ツーリズムメディアエート論	単位数 2 単位
英語標記	Tourism meditation	
授業コード	360112	
受講人数	15 人	
担当教員	森栗 茂一	
対象	全研究科大学院生、全学部学生、社会人（若干名）	
開講時間等	通年=集中（4-7 月土日など、10 月 1 日）	
開講場所	中之島センター、現地	
キーワード	まちなか再生、さるく、アート、癒し、長屋、町家、西陣、空堀、昭和町	
授業の目的	都市の魅力・動態、都市暮らしの意味を発見するまち歩きツーリズムのプログラムを理解し、京都西陣、大阪空堀などで観る。 [到達目標] 都市文化の価値を異なる専門分野の学生とおし、市民と一緒に学ぼう、都市生活の現場コミュニケーション力を養う。	
講義内容	1-4. [4/30]（茶谷、森栗） まち歩きが観光を変える 5-8. [5/8]（森栗、茶谷） 天神橋筋商店街、適塾大黒屋、京阪なにお橋駅ラボカフェ 9. [5/16or17or18or19] 観光適塾のプログラムのうち 1 つ以上を選択し、市民と共に受講し議論する 10-13. [6/5]（森栗） 西陣町家、北野天満宮お茶屋街 14-17. [6/12]（森栗） 長屋、空堀、昭和町、大阪医学校 18-20. [10/1]（森栗、茶谷） まち歩きから学んだこと報告会	
教科書	特になし	
参考書	ブログ：森栗茂一のコミュニティ・コミュニケーション 森栗・島田『神戸―震災を越えてきた街』岩波ジュニア新書 茶谷幸治『まち歩きが観光を変える』学芸出版	
成績評価	参加と現場議論による	

日本の観光のメインストリームをコミュニティツーリズム、まち歩きに変えた日本一のプロデューサー茶谷が、まち歩きの意義、まちとは何か、コミュニケーションとは何かを、ともに考える。そして西陣や空堀を歩いてみる。こんなチャンスを見逃してはいけない。意欲ある院生の受講を歓迎します。学部生も歓迎します（応募多数のときは院生優先）。

1-4. [4/30]（茶谷、森栗）

・集合時間・場所 午後 13:00 中之島センター

・内容 まち歩きが観光を変える

[30 日出席困難者は、25 日午後 13:00-18:00 に CSCD 研究室に来て申し出ること。課題を出す。]

5-8. [5/8]（森栗、茶谷）

・集合時間・場所 午後 13:00 地下鉄天神橋筋 6 丁目駅北改札（暮らしの今昔館連絡口）集合

・内容 天神橋筋商店街、適塾大黒屋、京阪なにお橋駅ラボカフェ

9. [5/16or17or18or19] 観光適塾のプログラムのうち 1 つ以上を選択し、市民と共に受講し議論する

・集合時間・場所 中之島センター他、日程は 4/24 に示す

・内容 詳細は講義中に説明

10-13. [6/5]（森栗）

・集合時間・場所 午前 10:00 阪急西院駅改札口

・内容 西陣町家、北野天満宮お茶屋街

14-17. [6/12]（森栗）

・集合時間・場所 午前 10:30 地下鉄谷町線谷町 6 丁目駅北改札口集合

・内容 長屋、空堀、昭和町、大阪医学校

18-20. [10/1]（森栗、茶谷）

・集合時間・場所 午後 13:00-17:00 中之島センター

・内容 まち歩きから学んだこと報告会

「さるく」とは

長崎方言で、あるきまわること。街なかを歩き回ることこと、都市観光の基本であり、長崎さるくの試みは、日本の都市観光の展望を、一気に本来的なあり方にすすめた。2007 年、神戸市で「さるく」が行われた。

考えても見よ。安定成長以後、「うち」を一步出れば、街は自動車流動に押され、川は暗渠となり、海は埋め立てられ、ファーストフードとコンビニのチェーン店ばかりで商店街が衰退する。歩く人などなく、マニュアル以外に語る人がいない。「うちの誇りある町」はどこにいった。

町を「さるく」ことは、「うちの町」を、内の人と外の人（ビジター）とのコミュニケーションのなかで発見していく、町を取り戻す作業である。町は「自慢たらたら」語るに足る舞台になったのだ。

大阪では大阪あそ歩。

*履修条件：10/1 中之島センターでデジタルコンテンツも含め発表。交通費等の必要なこともある。学生教育研究災害傷害保険に加入。詳細は学生センター